



ピックアップ 地域経済

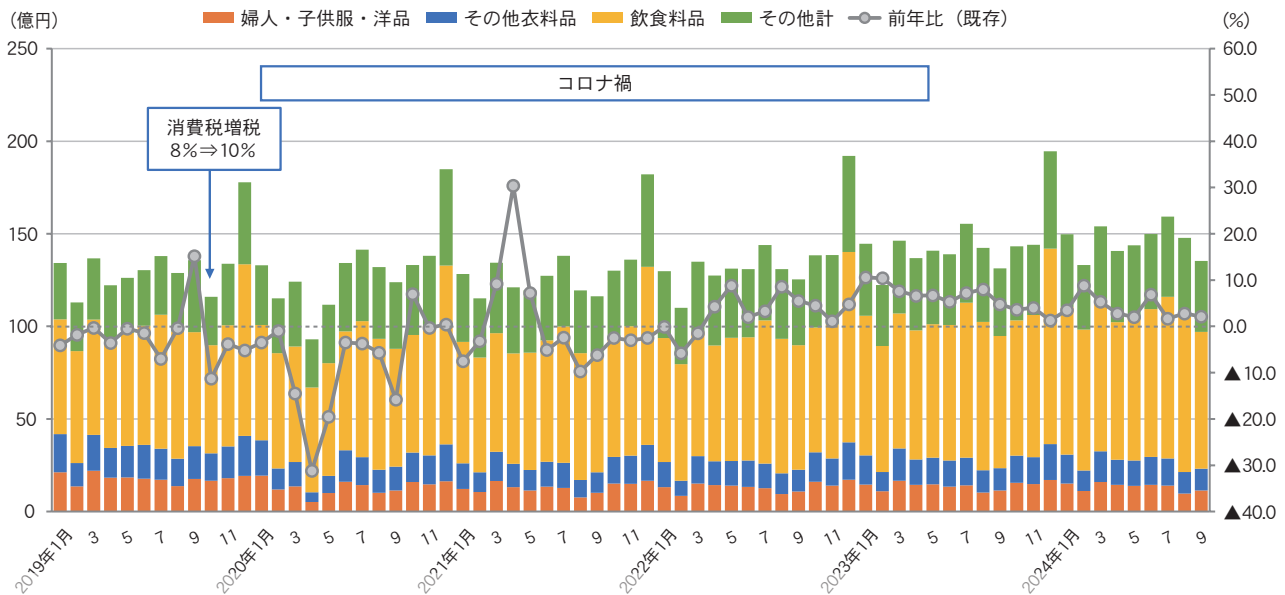
個人消費について

熊本の経済指標の中から注目の動向について取り上げます。

1 大型小売店販売額（百貨店＋スーパー）

熊本県の大型小売店販売額（既存店）は、2022年4月以降継続して前年を上回る水準で推移しており、24年9月まで30カ月連続で前年比プラスとなっている（図表1）。直近の24年1～9月においては前年同月比＋4％程度の水準となっているが、物価上昇の影響による嵩上げも一部含まれることから、ゆるやかな回復傾向をたどっているものとみられる。

図表1 熊本県の大型小売店販売額（既存店）および対前年比の推移（左軸：販売額、右軸：前年比）



資料：経済産業省「商業動態統計」

2 専門量販店販売額

以降は会員専用ページにて公開しております。2022年以降の熊本県の専門量販店販売額（全店）の動向をみると、家電大型専門店、ホームセンターは前年比マイナスでの推移が目立つ（図表2）。一方で、ドラッグストアにおいては2022年6月以降24年9月まで、28カ月連続の前年比プラスとなっている。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

（入力は数分で終わります）

[会員の方ははこちらから](#)